



2014年度

創薬科学フロンティアシンポジウム



日時: 11月22日(土) 10:00 ~ 18:10

会場: 愛学館A31講義室

11月23日(日) 9:30 ~ 12:30

(参加申し込み: 不要・参加費: 無料)

今回は、本学卒業の先輩方に多数講演して頂きます。ぜひご参加ください。

一日目 (プログラム)

10:10~ 一般講演

Mary Nour Attia (薬剤学分野)

Effects of *N*-acylamino acids and *N*-acyl taurates on the transdermal absorption

池内正剛 ほか (生化学分野)

v-Src発現によるDNA損傷応答を介したchromosome bridge形成

星谷尚亨 (薬化学分野)

シクロプロパン第三級炭素上への芳香環導入反応の開発

10:50~ 招聘講演

有光健治 (武庫川女子大学) 硫黄原子の反応性を生かした分子設計と反応開発

上田篤志 (長崎大学) ハリコンドリン類の全合成

濱田昌弘 (富山県立大学) 茶カテキン由来光学活性ラクトン及びその類縁体の合成

杉本幸子 (広島大) 未利用植物資源からの機能性成分の探索研究

13:00~ 研究成果講演

赤路健一 (薬品化学分野); 上西潤一 (薬化学分野); 只野金一 (薬化学分野)

14:15~ 特別講演: 村木克彦 教授 (愛知学院大学薬学部)

薬物の作用点としてのカチオンチャネル: その多様性から新たな視点を探る

15:20~ 招聘講演

谷口敦彦 (東京大学) 触媒的酸素化反応によるアミロイドタンパク質の凝集及び
毒性発現の抑制

大宮寛久 (北海道大学) 銅触媒の機能化に基づく高選択的有機合成反応の開発

16:10~ 特別講演: 向 智里 教授 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科)

New Entries to the Ring Construction Based on Allene Chemistry

17:10~ ポスター発表 & ミキサー (参加無料)

二日目 (プログラム)

9:30~ 研究成果講演

松田久司 (生薬学分野); 山下正行 (薬品製造分野)

10:20~ 招聘講演

柳沢大治郎 (滋賀医科大学) 高磁場MR装置を利用したアルツハイマー病画像診断法の
開発

位田雅俊 (岐阜薬科大学) 原因遺伝子を軸にした神経変性疾患の創薬研究

木村寛之 (京都大学) 分子イメージングプローブの開発と臨床への応用

11:35~ 研究成果講演

北村佳久 (病態生理学分野); 大矢進 (薬理学分野)

問合せ先: 創薬科学フロンティア研究センター 上西 潤一 (担当: 星谷)

e-mail: hoshiya@mb.kyoto-phu.ac.jp 電話: 588 (内線)